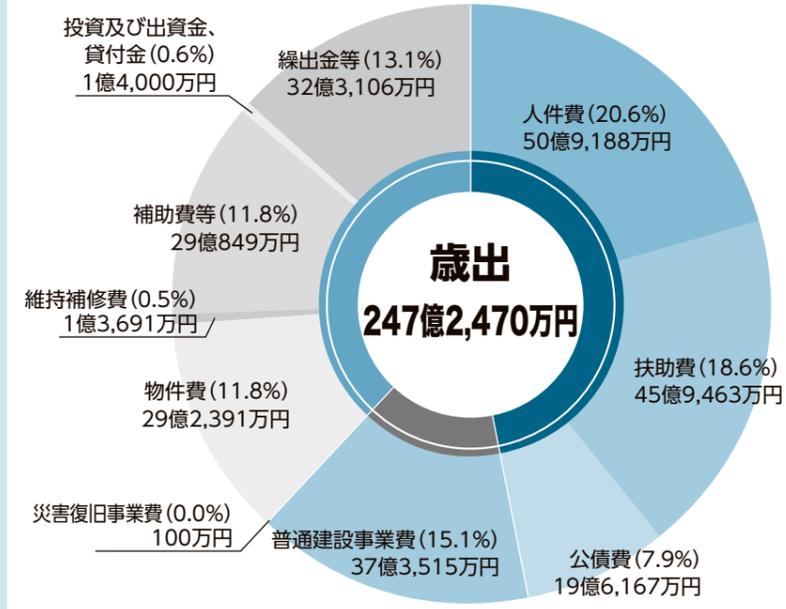


令和3年度 坂出市予算

一般会計当初予算額247億2,470万円
防災対策・人口増対策に重点

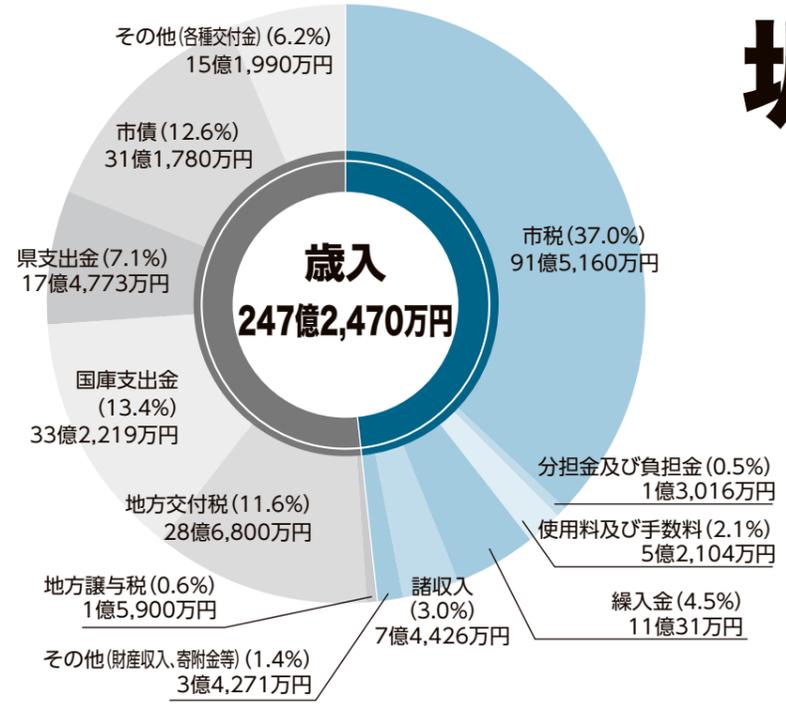
令和3年度の一般会計当初予算額は前年度比1.3%増(3億2,110万円増)となる247億2,470万円を計上しました。当初予算額は2年ぶりの増額となりました。これは、地域外来・検査センター運営費などの新型コロナウイルス感染症対策のほか、安全・安心のまちづくりの実現に向け、市民ホール施設改修事業、市立体育館改修事業などの防災対策経費に積極的に予算を投入したためです。さらに、認定こども園整備事業、視力検査機器導入などの子育て支援および坂出北フルインテグレーションなどの人口増対策に重点配分しました。また、中小企業や創業希望者に対する提案解決型支援および伴走サポートセンター(SakabiBiz)事業など、各種施策に予算を計上しました。

歳出の内訳【一般会計】



■ 義務的経費 116億4,818万円(47.1%)
■ 投資的経費 37億3,615万円(15.1%)
■ その他経費 93億4,037万円(37.8%)

歳入の内訳【一般会計】



■ 自主財源 119億9,008万円(48.5%)
■ 依存財源 127億3,462万円(51.5%)

Column 予算って どうやって作られているの？

令和3年度の予算編成は前年の10月頃から、全職員が一体となって取り組んでいます。

DATE 10月
市長より、新年度予算編成における基本指針や方向性を示した「予算編成方針」が全職員に通知されます。担当課は、これに基づき、次年度の事業実施に必要な額を計算し、予算作成を担当する政策課へ提出します。

DATE 10～12月
政策課は各担当課から提出された要求額を査定し、その後、各課からの復活折衝協議などを経て、予算案をまとめていきます。この過程では、「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向け、予算に反映させるなど、さまざまな観点から事業の取捨選択を行っています。

DATE 1月
市長自ら予算案を精査し、必要な指示・修正を終えると、予算案が完成。

DATE 3月
予算案は議会で審議され、議決を経てはじめて正式な予算となります。

坂出市の家計簿

坂出市が年収400万円の家庭だったら...

項目	金額
給料(市税)	148万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税等)	156万円
ローン借入(市債)	50万円
パート収入(諸収入・使用料等)	28万円
貯金から引き出し(繰入金)	18万円
合計	400万円

項目	金額
食費(人件費)	82万円
子どもへの仕送り(繰入金・補助費等)	91万円
医療費(扶助費)	74万円
光熱水費・日用品費(物件費)	47万円
家の増改築費(普通建設事業費等)	61万円
ローンの返済(公債費)	32万円
貯金(積立金)	9万円
知人への貸し付け等(貸付金等)	2万円
家具などの修理代(維持補修費)	2万円
合計	400万円

会計名	令和3年度	令和2年度	増減率(%)
一般会計	247億2,470万円	244億360万円	1.3%
特別会計	130億5,766万円	134億6,962万円	▲3.1%
国民健康保険	61億1,233万円	64億686万円	▲4.6%
与島診療所	704万円	735万円	▲4.3%
港湾整備事業	2,084万円	2,073万円	0.5%
王越診療所	1,192万円	1,174万円	1.5%
駅北口地下駐車場事業	6,285万円	7,469万円	▲15.9%
介護保険	57億7,960万円	58億8,298万円	▲1.8%
介護予防支援事業	6,044万円	5,937万円	1.8%
後期高齢者医療	10億264万円	10億590万円	▲0.3%
企業会計	87億4,016万円	88億996万円	▲0.8%
病院事業	67億7,074万円	67億2,783万円	0.6%
下水道事業	19億6,942万円	20億8,213万円	▲5.4%
総合計	465億2,252万円	466億8,318万円	▲0.3%

用語説明

- 自主財源** 市が自らの手で徴収または収納できる財源(市税、使用料等)
- 依存財源** 国または県が関わる財源(地方交付税、国・県支出金、市債等)
- 義務的経費** その支出が義務づけられ、任意に削減できない経費(人件費、公債費等)
- 投資的経費** 社会資本の整備に要する経費(道路整備、学校建設等)
- その他の経費** 物件費や維持補修費などに支出される経費

地域づくり



政策	事業名	予算額	内容
商工業の振興	坂出ビジネスサポートセンター(Saka-Biz)事業	約4,230万円	中小企業や創業希望者に提案解決型の支援や伴走的な実行支援を行う拠点を設置し、企業の付加価値向上に向けた取組や市民の起業等を支援します。
	坂出北フルインター化事業 新規	2億200万円	物流機能強化や災害時の緊急輸送機能の向上を目的として、フルインター化整備を行うことに伴い、市道の移設工事を実施します。
観光の振興	着地型プログラム支援事業補助金 新規	150万円	本市の魅力的な地域資源を活かした体験型サービス等を提供する民間事業者に補助金を支出し、コロナ後を見据えた、まちづくり型観光を推進します。
生活基盤の整備	公共施設等総合管理基金積立金	2億円	将来の公共施設等の更新、統廃合、長寿命化等に要する経費に充てるため、公共施設等総合管理基金に積み立てます。
	火葬場基本構想策定 新規	約570万円	田尾火葬場について、施設の老朽化が顕著であることから、建替えに向けた検討を行います。
	ごみ処理施設基幹的設備改良事業分担金 新規	約580万円	角山環境センターの円滑な運営と施設の延命化を図るため坂出、宇多津広域行政事務組合が実施する基幹的設備の改修工事に係る分担金を支出します。

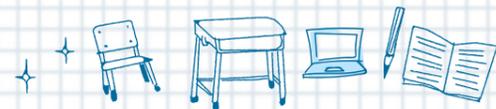


令和3年度 主要事業を紹介します

令和3年度当初予算等に示したおもな事業を分野ごとに紹介します。



教育・文化



政策	事業名	予算額	内容
デジタル教育への対応	教師用デジタル教科書購入 新規	約160万円	GIGAスクール構想により、1人1台端末環境が実現することに合わせ、国において学習者用デジタル教科書を購入する予定であり、市において指導者用デジタル教科書を購入します。
	教育用インターネット機器(GIGAスクール事業増額) 新規	約880万円	約3,700台のタブレット端末を整備し、それに合わせてインターネット回線を増強し、対応機器の整備・保守を行います。
子育て環境の整備	認定こども園整備事業	2億240万円	松山地区の幼稚園と保育所を統合してこども園に移行するほか、川津地区のこども園の実施設計を行います。
教育環境の整備	学校再編整備検討委員会委員報酬 新規	約95万円	学校再編整備計画を策定するため、小・中学校の適正規模および適正配置の考え方の見直しや再編整備の具体的方策について委員会に諮問します。
文化芸術の振興	アート・スタジオ管理運営・整備事業 新規	920万円	旧櫃石小学校を活用し、福王寺一彦氏の美術創作拠点を整備するとともに、ワークショップ等を通じて、アート鑑賞、体験機会を提供します。

暮らし



政策	事業名	予算額	内容
健康づくりの推進	地域外来・検査センター(PCR検査センター)運営費 新規	2,610万円	新型コロナウイルスの感染を早期に診断するため、引き続き安全な検査体制を整備し、感染症の拡大防止に努めます。
	新型コロナワクチン接種事業 新規	約3億6,150万円	希望する市民が迅速かつ円滑に新型コロナウイルスのワクチン接種ができるよう、接種体制を整備します。
	視力検査機器導入 新規	110万円	子どもの弱視の見逃しゼロを目指し、3歳児健診において現行の検査に加え、新たに視力検査機器「スポット・ビジョンスクリーナー」を導入します。
	健幸推進事業	約610万円	ウィズコロナの時代にあっても、健やかに幸せに暮らすことのできる地域社会の実現に取り組みます。
防災対策の強化	市民ホール施設改修事業	約6億1,370万円	平成31年3月31日に休館した市民ホールについて、令和3年度中の再開に向けて改修を実施します。
	市立体育館特定天井改修工事 新規	6,732万円	地震時の天井損傷や脱落防止のための天井改修工事を実施します。また、照明をLEDに切り替えます。
	市立体育館空調設備実施設計 新規	730万円	近年の夏の気温上昇に対処し、指定避難所である体育館の空調設備を新設するための設計を行います。
福祉の充実	三七ポンプ場ポンプ更新工事	1億7,000万円	老朽化が著しい、雨水排水のためのポンプ(口径1,200mm)を更新します。
	住宅用火災警報器設置補助金 新規	約110万円	満75歳以上のかたに対し、住宅用火災警報器を新しく設置または機器交換された際の費用(上限3,000円)を補助します。